

# ODA

# しゃりん

# 77

## 沖縄脊髄損傷者連合会

編集: 沖縄脊髄損傷者連合会 TEL/FAX 098-886-4211  
 〒903-0804 沖縄県那覇市首里石嶺町4-373-1西棟2階・ボランティア小規模団体室  
 Eメールアドレス [sekiren@proof.ocn.ne.jp](mailto:sekiren@proof.ocn.ne.jp)  
 ホームページアドレス <http://www.normanet.ne.jp/~ww500008/>

### 新会長「挨拶」



沖縄脊髄損傷者連合会  
 会長 平田かおり

新年度から、初の女性会長として就任しました平田かおりです。11年間上里前会長の下で副会長を務めておりましたが、一年間沖縄脊髄損傷者連合会沖縄県支部の会長として、精一杯頑張りたいと思っております。

素晴らしい、上里前会長の後任として、正直戸惑い・迷い・不安が、沢山ありますが、先輩などの意見を沢山聞きながら、役員・会員の皆さんの大きな協力

を得て、おんぶに抱っこ状態になるかと思いましたが、少しずつではありますが、会長として成長したいと思っております。初の、女性会長として今までまらなかつた女性の車椅子の方々の先頭として、多くのイベントにも交流に参加出来るように図りたいと思っております。勿論、男性会員も一緒に馬鹿騒ぎしながら楽しい沖縄連にして行きたいと思えます。名前だけが会長で有り、これからは、皆様が会長として、案や意見など発言して頂きたいと思えます。今まで出来なかつた新しい風？台風を巻き起こしたいと思っております。

一年間宜しくお願い申し上げます。

### 第二十四回

### 沖縄連定期総会

去る五月十七日(土)、十三時〜十五時、県総合福祉センター西棟・小規模団体室において、第二十四回沖縄連定期総会が、会員約二十五名の参加の下開催されました。始に会長の上里から挨拶と十九年度の総括があり、次に十九年度活動報告と十九年度収支報告がなされました。引き続き二十年度活動計画、二十年度予算案が報告され、質疑応答の後、出席者による拍手で承認されました。

又、役員改選では、十一年間会長として沖縄連を支え、盛り上げていただいた、上里一之氏が退任され、新会長に、平田かおり

氏が選任され、新体制となる二十年度の新役員が決まりました。  
二十年度役員は左記の通り。

【会長】

○平田 かおり

【副会長】

伊波 朝一

○上里 一之

【事務局長】

牧志 努

【会計・事務局】

○喜友名 恵

【書記・広報】

山入端 依子

【監査】

○横田 清

【理事】

州鎌敏美 當間貴志

山城保和 岸本政弘

神里和彦 砂川昭人

野原寿浩 上栄原和雄

【相談役】

○荷川取礼子

仲根建作 仲里 進  
大城昌彦 ○山川淳二

池原新栄 谷口正厚

高嶺 豊



### 琉球ゴールデンキングス観戦

去る4月5日(土)午後7時より、那覇市民体育館において、プロバスケットボールBリーグの琉球ゴールデンキングスvs東京アパッチ戦が行われました。

これは、株式会社サンシャインと沖縄バスケットボール株式会社の御厚意により、県内で開催される琉球ゴールデンキングスの試合に、沖縄連の会員に招待観戦をさせていただきました。

琉球ゴールデンキングスには、沖縄出身の選手も多く、2メートル余りの身長外国人選手も交えて、スピード感にあふれる迫力ある試合でした。

琉球ゴールデンキングスは、惜しくも試合に敗れたものの、次年度の活躍を期待すると共に、沖縄における新たな楽しみがひとつ増えたような気がしました。

(報告・上里)



### パラリンピック日本代表選手決定

日本パラリンピック委員

会は20日、9月の北京パラリンピックに出場する日本代表選手157人を発表、県内からは陸上男子の上与那原寛和選手(36) 〓沖縄市、射撃男子の又吉清人選手(47) 〓浦添市、ウイルチエアラグビーの仲里進選手(31) 〓浦添市〓の3人の出場が決まった。

北京パラリンピックは9月6―17日に開催される。日本代表選手は今後、数人の追加がある予定で、総数163人だった前回アテネ大会並みになる見通し。日本は17競技に出場し、役員を含めた選手団は約280人となる。選手団の主将は車いすバスケットボール男子の京谷和幸選手(36) 〓千葉県、開会式

の旗手は陸上男子の鈴木徹選手(28) 〓山梨県〓に決まった。前回の日本は金17、銀15、銅20の計52個と過去最多のメダルを獲得した。

(5/21琉球新報抜粋)

沖脊連会員からも、上与那原寛和さん、仲里進さんが日本代表選手として決定しました。

## 回日本車椅子バスケット

### トボール選手権大会

去る5月2日(金) 〓4日(日) 東京で行われた、内閣総理大臣杯争奪第37回日本車椅子バスケットボール選手権大会に、沖縄シーサーが出場してきましたので結果を報告します。初戦は北海道代表の旭川リ

バーズで、旭川のチームは2月に沖縄に遊びと交流をかねて来沖した際に交流試合をしておりました、そのときの交流試合でチーム力を知っておりまして初戦の目標はチーム全員出場・全員バスケットということで、結果終始リードを保てたまま目標を達成して55対44で勝利することができました。

第2回戦の相手は2連覇中の関東代表の千葉ホークスで、こちらでの目標は今年から取り組んでいるスクリーンプレイをしっかりとやることと、千葉は走りのチームなのでしっかりとボールを運んでスクリーンプレイからのしつかりとしたシュートを打つことでした。

結果は予想していたとおり相手はオールコートでのマンツーマンをしてきて、沖縄シーサーは練習を積んできたボールをしつかり運ぶことはできたのですが、日本最高峰のチームのディフェンスにきれいなシュートを打たせてもらえず最後は体力の差をみせつけられ、74対39の大差で敗北しました。

今回の大会はチームのメンバーが若いこともあり、敗れはしたものの日本最高のチームとやることができ、大いに実りのある大会でした、この経験を次にいかし来年も日本選手権に出場し目標のベスト8を目指してチーム一丸となり頑張っています。

(報告・伊波)

## 日本車椅子ツインバスケットボール選手権大会、沖縄で開催

6月7日(土)～8日(日)に沖縄で第22回日本車椅子ツインバスケットボール選手権大会が開催され、全国5ブロックの予選を勝ち抜いてきた14チームが日本一の座を目指して熱戦を繰り広げます。

7日(土)は沖縄県立武道館と沖縄国際大学体育館に分かれて1、2回戦が行われ、8日(日)に沖縄県立武道館で準決勝、決勝を行います。この大会に私たち「沖縄フェニックス」が11年連続12回目の出場をします。そして、平成14年、15年の連覇以来3

回目の優勝を目指しています。しかし、ここ数年、強敵関東勢に阻まれ4強の壁を突破出来ずにいます。4強に残るチームはどかが優勝してもおかしくない程戦力が拮抗し、本命不在の状況が続いていますので、まずは初戦、初日を乗り切れるよう練習に励んでいます。今回は初戦で関東ブロック代表の「Forza」と対戦です。それに勝利しても関東勢との対戦が続きますが、地元の利を生かし、多くの方の応援を受け勢いをつけて行きたいと思っています。当日は会場での応援宜しくお願いします。初戦「沖縄フェニックス」対「Forza」10:40開始！  
(大会HP) <http://www.twinbasket-alljapan.com/>

広告(ちはる歯科)